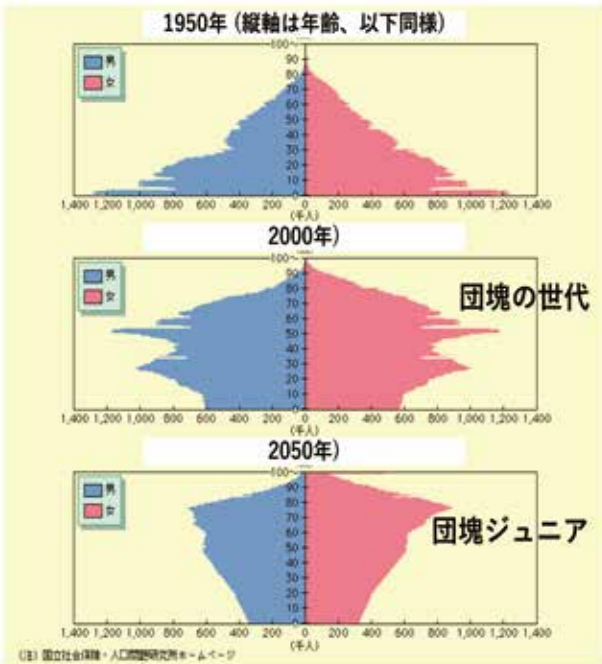


コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
TEL 086-444-3212
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



2035年に団塊の世代が全員85歳以上 (中段グラフの35年後)、段階ジュニア (下段)がそれに続きます。この大きな塊にどう立ち向かうべきかをお話しました。(国土交通白書 日本の人口ピラミッドの変遷 (1950年、2000年、2050年)より)

【皆さんが指導者になる頃】
さて、2035年は団塊の世代が全員85歳以上になる年です。団塊ジュニアも65歳以上です。全人口の3分の1が高齢者です。
この世代は多くの病気 (複合ニーズ) を抱え個々の病気に

対応だけでは生活の満足を提供できません。



集まっていたいた医学生の方

医学生WEB懇談会

10月、医学生WEB懇談会に呼ばれました。参加学生さんは岡山県民主医療機関連合会 (民医連) の奨学生の皆さんです。
それぞれの大学がある札幌、東京、大阪などとWEB中継でお話しました。この会を主催してくれたのは中川憲二さんたち医学生担当の方達です。

『時勢に備える物指しをもってください』
コープリハビリテーション病院 院長 鍛本真一郎



鍛本院長の講義

③多職種との連携を学ぶとい

創志学園高等学校看護科基礎看護臨地実習

病院の機能、そこで働く各職種の役割と連携について、

①病院の機能や構造②病院で働いている職種とその役割
③多職種との連携を学ぶとい
う目標で、高校看護科1年生22名と引率教員2名で来院されました。
午前中は、庄司看護部長の挨拶に始まり、鍛本院長、水島副主任の講義が行われ、これからの職種、病院像や回りハナースからみた多職種連携についての学びを深めていきました。午後からは、院内の役割と機能を学ぶため、見学をしてもらいました。



歯科外来での治療の様子も見学しました。施行医は副理事長の滝本先生。

将来、立派な看護師となつてどこかで出会える日が来るのを楽しみにしています。
(コープリハビリテーション病院 回復期リハビリ病棟 副主任 圓能寺美香)

基本領域専門医 (19領域)		
・総合内科	・麻酔科	・臨床検査
・小児科	・放射線科	・救急科
・皮膚科	・脳神経外科	・形成外科
・精神科	・泌尿器科	・リハビリテーション科
・外科	・耳鼻咽喉科	・総合診療科
・整形外科	・眼科	
・産婦人科	・産婦人科	

リハビリテーション科は他の18領域とは違う物指し (医療の成果)で患者を診ます

【複合ニーズに必要な物指し】
今、医療の専門分化の見直

しと高齢者人口に合わせ「総合診療科」が新設されました。しかし複数の病気の知識を寄せ集めるだけならコンピュータの検索エンジンに勝てません。病状を推論するのはAIが優れています。
あと医師が勝てるのは患者の何を調整すれば生活の満足を提供できるかという問題発見力です。
その上で患者に寄り添い潜在的な活動力を引き出す覚悟です。リハビリテーション科の使命もこれです、と医学生の皆さんに伝えました。

でもメモを一つ一つ取りながら一生懸命聞いている姿が印象的でした。そして、病院スタッフからの質問等に対し、少し戸惑いつつも自分の考えを伝えることが出来ていました。
私は、午後からの病院見学で直接生徒たちと関わらせて頂きました。私自身、高校生と関わる経験があまり無かったため、どのように話をしたら良いかと悩む部分もありましたが、病棟説明をしている時の生徒たちの目が輝いて見えたので何か通じるものがあったのでは無いかと思っております。私の思い込みかもしれませんが...
そして、見学から帰ってきた生徒たちのメモにはびっしりと文字や図まで書かれており、少しでも学びにつながったのだと思うと嬉しく感じました。
将来、立派な看護師となつてどこかで出会える日が来るのを楽しみにしています。

福田中学校より職場体験

「将来の夢へ向けての一步」

10月に福田中学校より二年生3名チャレンジワーク（職場体験）で来られました。3名とも将来医師希望であり、とても緊張しているのが伝わりました。

3日間という短い期間でしたが、看護師の業務を見学したり医師の話聞いて、積極的に質問して真剣な表情もみられました。鍛本院長の話も興味深く聞き、田村医師からは縫合の手法を教えてもらったりと、なかなか普段出来ない経験もして将来の夢に1歩近づいたことができたのではないかと



鍛本院長の話を熱心に聞き入る中学生

いかと思います。体験が終わった後、生徒たちからは「聞きたいことは全部聞けた。楽しかった」との感想も聞かれました。今回の経験を是非活かしていただき、医師となつて一緒に働くことができれば嬉しいですね。

（コープリハビリテーション病院 回復期リハビリ棟 看護師 茅尾見穂）



職場体験の中学生との集合写真

看護と介護、そしてリハビリの三者一体で患者を元気にしよう

中学生向けの倉敷市キャリア教育推進事業

昨年引き続き、倉敷市立玉島西中学校の中学生に体験講座を10月18日に行いました。倉敷市からは職業観の育成

と地元就職の促進を、学校からは仕事のやりがいや厳しさを、教えて欲しいとの事でした。内容は、当事業所の特徴



AED体験で力も体力も必要な胸部圧迫を初めて知る生徒



筆者(左)、河原看護師(中央)、玉口介護福祉士(右)

を説明した後、看護師によるAEDと注射器の体験、介護福祉士による不自由な身体想定での食事体験及び介助、理学療法士による体力測定と車椅子体験の3つを企画しました。

生徒は普段の生活では出来ない体験で積極的に参加していました。頂いた感想文には、「今回の体験で医療に関する興味がわき、関心が持てました」「(食事介助では)目が見えにくいから急にスプーンが入った時は怖かった。どうすれば食べやすいのか自分で改めて考えた」など、良い体験になったようです。進路に悩む生徒の一助となり、夢を掴む手助けが出来れば幸いです。

倉敷中央高等学校福祉科介護実習

「コミュニケーションスキルの習得」

10月23日～11月10日の19日間、倉敷中央高校2年生の2名が介護実習のため老健あかねに来られました。

初日は緊張していた様子もありましたが、利用者さんとコミュニケーションを積極的にとり実習に励む一生懸命な姿が見られとても印象的でした。

日を追うごとに緊張もほぐれ職員と一緒に入浴介助、排泄介助などを行い注意・留意

意点などについて熱心に学習し、最終日の挨拶時は利用者さんも生徒も別れを惜しむ様子が見られました。

老健あかねでの実習の経験を生かし介護技術、介護知識はもとより相手と自分の間に信頼関係をむすび利用者さんの気持ちに寄り添えるケアに心掛けいつも笑顔で信頼されるステキな介護福祉士になってほしいです。

（老健あかね 介護福祉士 植田菜知）

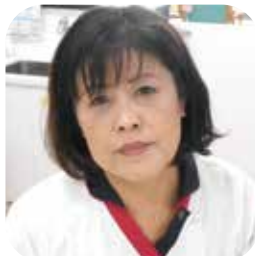


コミュニケーションをとり実習に励む高校生

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院 事務課メディカルサポーター 三宅恵子



老健あかね 看護師 竹本朋子

看護師 河原栄子
介護福祉士 玉口麻美
理学療法士 佐藤雅昭

（コープリハビリテーション病院・老健あかね）

診療表		コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]		老健あかね [086-446-6541]	
診療時間	月	火	水	木	金
外来	午前 9:00～12:30 午後 14:30～15:00	渡辺 (予約制)	飯塚	太田	香口
器具外来		○ (予約制)			
歯科		滝本 (予約制)		滝本 (予約制)	
短時間通所リハビリ	9:00～16:50	○	○	○	○
短期集中健康アップ教室	9:30～11:00	○	○	○	○
訪問リハビリ	○	○	○	○	○
通所リハビリ	9:00～16:00	○	○	○	○

医療福祉相談・連携室	
相談受付時間	平日 9:00～12:00 13:30～16:30 土曜日 9:00～12:00 日・祝日 休み



〇お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00～16:30
土曜日 9:00～12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。